



編集された現実

What the bleep do we know?

物事を見ているのは、果たして目なのか脳なのか？ 外の世界と内の世界、一体どっちが本当の現実なのか？
 答えは、内の世界。私たちの心が外の世界を作り上げているのである。

人間の脳が1秒間に処理する情報は、4,000億ビットである。しかし意識に至るのは、わずか2,000ビット。ということは、現実を見ているようで実は、私たちの視覚能力（識眼力）に応じた映像だけが編集されて脳に映し出されているということなのである。



コロンブスの船隊が見えなかった

私たちの脳は、今までの経験に従って知覚作業をしている。言い換えれば、今まで経験したことのないものには、脳は反応しないということである。

15世紀にコロンブスがアメリカ大陸に上陸しようとしたとき、現地の人々はコロンブスの船隊を見ることができなかった。海の向こうに何かがある、という感覚はあったが、それを脳で捉えることができなかったのである。シャーマンが毎日浜辺にやってきて海の向こうを観察した。毎日毎日見つめた結果、ある日突然見え始めた。いったん見ると、それ以来いつも見えるようになったというストーリー。

感覚的に生きるか、理屈で生きるか

鎌倉の自宅で愛猫まる（14歳）と暮らす養老孟司さん。まると一緒にいると何か心がホッとするという。すべての物事が編集され、だんだん同じになってゆく世界。シンガポールのスターバックスで飲むコーヒーも、富山の環水公園のスターバックスで飲むコーヒーもみな同じ。世界に1つだけの花～ナンバーワンにならなくてもいい、もともと特別なオンリーワン～とスマップが歌う。世界に2つの花があったら見せてくれ、という養老さん、ネコにはすべてのものが、オンリーワンにしか見えないのだから。同じことの繰り返し、理屈で生きることにもういい加減疲れてくる。感覚的に生きるネコの生き方は、日々新た！



エンパワーする現実

人生を豊かにするのは、知識ではない。人生を本当に豊かにするのは、今までに証明されている世界でなく、むしろまだ証明されていない未知の世界である。私たちの周りには、実は無限大の可能性があるのであるのに、なぜ私たちは日々同じ現実を生きているのだろうか。

科学で証明できるのは、宇宙全体のわずか3%。そして人類は脳の機能の、10%しか使っていないという事実に気づき、すこしでも未知の領域に足を踏み入れる勇気と行動が日々の現実を変える。

<事例>

編集された現実DVD/2つの写真/概念とは

What the bleep do we know?

見ているのは目なのか、脳なのか

コロンブスの船隊が見えなかった

念じることで、水の結晶が変わる（江本勝）

養老孟司と愛猫まる/ネコは絶対音感

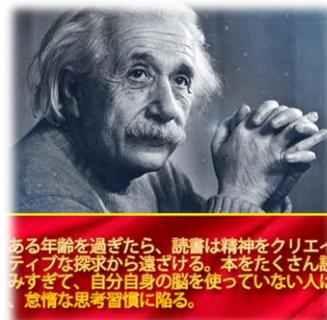
赤ちゃん実験/母乳をかぎ分ける

サバン/スティーブン・ウィルシャーさんの例

映画「マトリックス」より、心の牢獄

ブルースリー/心を空っぽに、水のように、

エンディング曲/モンゴル民族楽器・馬頭琴の音色



ある年齢を過ぎたら、読書は精神をクリエイティブな探求から遠ざける。本をたくさん読みすぎて、自分自身の脳を使っていない人は、怠惰な思考習慣に陥る。

宗教なき科学は欠陥であり、
 科学なき宗教は盲目である
 アインシュタイン